

目的 衣服設計のための基礎研究を目的として多変量解析法を適用し、広い年齢層にわたる成人男子の身体計測値の総合判定を行い、体型の年代別分布の変化の定量的研究を試みる。才1報では絶対値の主成分分析の結果を報告する。

方法 年齢20才～59才までの健康な成人男子700名について計測された身体計測値57項目及び計算値7項目の計64項目をデータとして主成分分析を行い、因子の抽出さらに個人別因子得点を算出することにより、体型の年代的变化を観察する。

結果 1、才1主成分には大きさを表わす因子、才2主成分には肥瘦を表わす因子、才3主成分には肩部幅径を表わす因子、才4主成分には上半身の高径を表わす因子の4因子を抽出した。以上4因子の累積寄与率は72.4%であった。

2、才1主成分により身体の高さは30才代前半が最大となり、その後漸次小さくなるという結果が得られた。しかし、才2主成分の肥満の傾向は年代とともに漸次増加する。才3主成分の肩部の幅径は漸次狭くなる。以上のことが、各主成分の個人別因子得点の年代別平均値及び分布を調べることにより示された。